

実務修習支援システム

(e-ラーニングシステム)

利用マニュアル

令和7年8月

指定修習機関



日本弁理士会

はじめに

この利用マニュアル（以下「本マニュアル」という。）では「実務修習支援システム」（以下「本システム」という。）の利用方法について説明します。

本システムは、実務修習のeラーニング研修の受講や集合研修の受講状況を確認することができます。

本システムはメンテナンス等により一時的に稼働を停止する場合があります。また、アクセス集中により接続しにくい場合は、時間を置いてから接続しなおしてください。

●実務修習の内容に関するお問合せ先

日本弁理士会 研修第1課

電 話 : 03-3519-2360

E-mail : jitsumu-shushu@jpaa.or.jp

受付時間: 9:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

●本システムに関するお問合せ先

e-ラーニング研修ヘルプデスク

電 話 : 03-3834-7421

E-mail : support@jpaakenshu.jp

電話受付: 平日 9:00~12:00、13:00~17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

メール受付: 24時間対応 (ご回答は翌営業日 9:00~12:00、13:00~17:30)

・お問い合わせ内容によって、回答までに時間を要することがあります。

●ID・パスワードの再通知

日本弁理士会 研修第1課

① パスワードの再通知はP.5に記載の「2. パスワードの再通知」から手続きを行ってください。

② IDを忘れた場合は下記にお問合せください。

電 話 : 03-3519-2360

E-mail : jitsumu-shushu@jpaa.or.jp

受付時間: 9:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

・お問い合わせは、できるだけE-mailをご利用ください。

・上記宛先にお名前（フルネーム）と受講者 NO. とユーザID再通知希望の旨をご連絡ください。受付後、最大3~4日間お時間をいただきます。

目次

【基本事項】	3
（1）ログインに必要な ID、パスワード	3
（2）実務修習の受講状況を確認できる期間	3
（3）eラーニング受講期間 ※単位修得可能	3
（4）eラーニング復習期間 ※単位修得不可	3
第一章 本システムへのログイン	4
1. ログイン方法	4
2. パスワードの再通知	5
第二章 画面の表示内容	7
1. TOP画面	7
（1）ユーザ情報、ログアウト	7
（2）お知らせ	8
（3）研修状況	9
（4）サイドメニュー	11
2. 受講課目画面	13
（1）画面構成	13
（2）各構成の説明	13
3. 研修詳細画面	14
4. 修得単位画面	16
（1）画面構成	16
5. eラーニング受講画面の操作方法	17
（1）講義映像（画面構成、動画プレイヤー）	17
・動画プレイヤー操作	18
（2）効果確認問題	19
※eラーニング研修の受講に関する注意事項	21
参考 本システムの利用に必要な動作環境	22
■動作環境について	22

【基本事項】

（１）ログインに必要な ID、パスワード

日本弁理士会より送付された受講アカウント証に記載されている ID、パスワードを用いて「実務修習支援システム」にログインしてください。

※ID を忘れた場合の再通知手続は、P. 1 を参照ください。

※パスワードを忘れた場合の再通知手続は P. 5 に記載の「2. パスワードの再通知」を参照ください。

（２）実務修習の受講状況を確認できる期間

実務修習の受講者は、実務修習期間中（令和 7 年 1 2 月 5 日（金）～令和 8 年 3 月 3 1 日（火）まで）のみ本システムにログイン可能です。実務修習期間中は、受講可能な課目一覧および修得結果が確認できます（操作方法は後述）。

（３）e ラーニング受講期間 ※単位修得可能

e ラーニング研修は、令和 7 年 1 2 月 5 日（金）～令和 8 年 2 月 2 8 日（土）まで受講が可能です。

上記期間中に受講が完了した e ラーニング課目は、実務修習の修了に必要な単位として修得することができます。

（４）e ラーニング復習期間 ※単位修得不可

上記（３）の e ラーニング受講期間の終了後、単位取得済みの課目は、令和 8 年 3 月 3 1 日まで任意で復習視聴が可能です。

＜注意事項＞

復習期間に、単位を未修得の e ラーニング課目を最後まで視聴した際、システム上は修得単位として表示される場合がありますが、上記（３）の受講期間は終了しているため修得単位としては取り扱いません。ご注意ください。

第一章 本システムへのログイン

この章では、1. ログイン方法、2. パスワードの再通知について説明します。

1. ログイン方法

日本弁理士のホームページTOP画面にある”弁理士とは→弁理士になるには”をクリックします。

図1. 日本弁理士のホームページTOP画面



図2. 日本弁理士のホームページ“弁理士になるには” 中間画面



図2. の”詳しくは、実務修習”をクリックすると実務修習ページが表示されます。

ページ内の”実務修習支援システム”をクリックすると本システムの「ログイン」画面が表示されます。

「①ユーザID」と「②パスワード」を入力し、”③ログイン” ボタンを押してください。

図3. 「ログイン」画面

井理士職務研修支援システム
井理士研修システム

① ユーザID

② パスワード

③ ログイン

④ [パスワードを忘れた方はこちら](#)

図4. 「ログイン」画面、ID、パスワードの入力後

① ABC12345

②

③ ログイン

ログイン後は「TOP」画面P.7 図6が表示されます。

2. パスワードの再通知

パスワードは図3”④パスワードを忘れた方はこちら”リンクより、申請時の1件目のメールアドレスへパスワードの通知ができます。”④パスワードを忘れた方はこちら”リンクを押すと、「ログイン」画面の上に図5「パスワード再通知」画面が表示されます。

「⑤ユーザID入力欄」にユーザIDを入力し、”⑥再通知”ボタンをクリックすると、申請時の1件目のメールアドレスにパスワードの通知メールが送信されます。

正常に完了した場合、送信完了のメッセージが表示されます。メッセージ画面の”OK”をクリックし、パスワード再通知画面の”⑦閉じる”をクリックすると、「ログイン」画面に戻ります。

図 5. 「パスワード再通知」画面

パスワード再通知

パスワードを忘れた方は、ユーザID入力欄にユーザIDを入力してください。
ユーザIDの連絡先にパスワードを送付します。

ユーザID入力欄

再通知

◆IDの再通知を希望される場合は下記の要領によりご請求ください。
ご利用のシステムにより請求先が異なりますのでご注意ください。

【会員の方（弁理士研修システム）】
 <請求先> 電子メール：id-password@jpaa.or.jp
 <記載事項>
 件名：ID再通知希望
 本文：
 1) 登録番号
 2) 氏名
 3) 本会への届出とは異なるメールアドレスから本メールを送信した場合のID/PW通知方法[※]

[※] a 届出アドレス宛のメール
 b 届出ファクシミリ番号への送信
 c 主たる事務所への郵送、より一つを選択してください。

通知までに数営業日の時間をいただく場合がありますので予めご了承ください。

<事務局担当> 情報室 TEL 03-3519-2704

【実務修習の修習生の方（実務修習支援システム）】
 <請求先> 電子メール：jitsumu-shushu@jpaa.or.jp
 <記載事項>
 件名：実務修習支援システムID等再通知希望
 本文
 1) 受講者NO
 2) 氏名（フルネーム）

受付後、3～4日間お時間をいただきます。
 FAXでのお問合せは03-3581-1205に上記<記載事項>を記入の上、送信ください。

<事務局担当> 研修課 TEL 03-3519-2360
 <受付時間> 9:00～17:00（祝祭日および12月29日～1月3日を除く月～金）

閉じる

【ID・パスワードについて】

注意 1：入力ミスにご注意ください。特に大文字・小文字、半角・全角（全角文字はありません）、英字の「I（エル）」と数字の「1（イチ）」、英字の「O（オー）」と数字の「0（ゼロ）」の区別に注意してください。

注意 2：ユーザID・パスワードが決して他人に漏洩することのないように十分注意してください。他人に貸与したり、譲渡したりすることは、固く禁止されております。

第二章 画面の表示内容

1. TOP画面

本システムは、各機能の画面に移動するためのボタンを用意しています。これらボタンを選択することにより任意の画面に移動します。主なボタン群は、(1) ユーザ情報、ログアウト (2) お知らせ、(3) 研修状況、(4) サイドメニューです。

※スマートフォンでの場合、(1) ユーザ情報、ログアウトは「▼」を押下することで表示します。

図 6. 「TOP」画面



PC での表示



スマートフォンでの表示

(1) ユーザ情報、ログアウト

ヘッダーには「ロゴ」「ユーザ情報」及び「ログアウト」ボタンが表示されます。

① ロゴ

ロゴ画像をクリックすると、「TOP」画面へ移動することができます。受講画面等を除いたほとんどの画面に表示されます。

② ユーザ情報

ユーザ情報ではログイン中の受講者の氏名が表示されます。免除が認められた受講者の場合、受講者氏名の右側に課程名が表示されます。

③ ログアウト

本システムの使用を終了する場合に使います。ボタンのクリック後に、「ログイン」画面が表示されれば正常に終了しています。

図 7. 「ログアウト」ボタン



PC での表示



スマートフォンでの表示

(2) お知らせ

実務修習に関するお知らせが確認できます。

お知らせの“①タイトル”にカーソルを合わせてクリックすると、図9「お知らせの詳細画面」が表示されます。

一覧に表示される研修の件数については“②表示件数”から「5（初期）10、20、30、40」の中で選択が可能です。

図8. お知らせ

お知らせ 一覧 >			
② 表示件数 ▼			
種別	タイトル	閲覧状況	掲載日
① 全体	① 【注意事項】実務修習の受講に関するお知らせ	● 未読	2017/10/04
全体	【実務修習】弁理士登録の申請・e-ラーニング研修の復習期間について	● 未読	2017/10/13

図9「お知らせ詳細画面」では、お知らせの内容閲覧及び添付ファイルのダウンロードが可能です。画面を閉じる場合は右側の”閉じる”ボタンをクリックしてください。

図10「お知らせ一覧」画面に表示される表示内容は”①全件/未読”ボタンによる閲覧状況、”②種別”の選択から、絞り込むことができます。

図9. お知らせ詳細画面

🔔 2017/06/08 e-ラーニング「基礎力サポート研修」配信のお知らせ		閉じる
■ 種別	個人	
📅 掲載日	2017/08/01	
📄 本文	<p>研修所では、今年度より新人研修を廃止し、新人研修のe-ラーニング講座をベースに、新たに「基礎力サポート研修（略称：基礎サポ）」シリーズとしてe-ラーニング講座での全会員への配信を開始いたします。本シリーズにラインナップされる各講座は、弁理士の専権業務に関わる内容を中心に、弁理士業務を行う上で必要な知識を習得するための基礎講座とする予定です。</p> <p>この「基礎力サポート研修」は、実務修習（登録前研修）のカリキュラムには含まれていない基礎的な講座が数多く含まれているため、弁理士登録してから5年以内に全ての講座を履修されることを推奨とするカリキュラムとなっております。本研修は、講座単位で履修することができ、都合がよいときにいつでも視聴することができます。また、一般会員にとっても、業務に必要な知識を再確認するツールとして、ご活用いただけます。</p> <p>本シリーズの各講座は、添付をご確認ください。</p> <p>また、本シリーズの各講座は、「弁理士業務研修支援システム」の「科目検索」において、「キーワード」の項目に「基礎サポ」と入力することにより、容易に抽出することができます。</p> <p>＜研修に関するお問い合わせ先＞ 日本弁理士会事務局研修課 電話：03-3519-2360 E-mail：yousei-kenshu@jpaa.or.jp URL：http://www.jpaa.or.jp/</p>	
📎 添付ファイル：	基礎力サポート研修_講座一覧.pdf(70KB)	
		閉じる

図10. お知らせ一覧

お知らせ一覧			
① 全件 未読 ② 種別 ▼			
全体	【実務修習】弁理士登録の申請・e-ラーニング研修の復習期間について	未読	2017/10/13
① 全体	【注意事項】実務修習の受講に関するお知らせ	既読	2017/10/04

（３）研修状況

上段の「研修期間」は、実務修習の実施期間を示します。実務修習の実施期間は、システムにログインできる期間であり、eラーニングの受講期間（単位修得可能）とは異なりますのでご注意ください。

（※eラーニング研修は、令和7年12月5日（金）～令和8年2月28日（火）までの期間に受講が可能です。この期間中に受講が完了したeラーニング課目は、実務修習の修了に必要な単位として修得することができます。）

下段の「研修修了までの単位数」は、実務修習の修了までの単位数を課程毎に分類して表示します。課程の名称はシステム上省略しており、表1. の表示名となります。

表1. 課程の説明

項番	表示名	課程名
1	弁理士法等	弁理士法及び弁理士の職業倫理
2	特・実	特許及び実用新案に関する理論及び実務
3	意匠	意匠に関する理論及び実務
4	商標	商標に関する理論及び実務
5	条約その他	工業所有権に関する条約その他の弁理士の業務に関する理論及び実務

課程の免除が認められた受講者の場合、免除対象課目の単位数が減算されて表示されます。免除理由により認められる課程について、表2. に示します。

表2. 免除される課程

項番	免除理由		免除される課程
1	弁理士試験合格者、特許庁経験有資格者	特・実課程での所定の経験を有し、免除を認められた者	特・実課程のすべての課目
2		意匠課程で所定の経験を有し、免除を認められた者	意匠課程のすべての課目
3		商標課程で所定の経験を有し、免除を認められた者	商標課程のすべての課目
4	弁護士資格		弁理士法、弁理士倫理及び弁理士業概論以外のすべての課程 ※1（特・実、意匠、商標、条約その他の4課程すべての課目）

※1：弁護士資格による免除の場合、氏名の右横に（特・実、意匠、商標、条約その他免除）と表示されます。

例えば、実務経験があり所定の手続きを経て“特・実”、“意匠”、“商標”いずれかの課程が免除された場合、“特・実”、“意匠”、“商標”課程の単位が免除となり、該当課程の修了までの単位数は“0”と表示されます。

図11は、免除がない場合の例、図12は“特・実”課程が免除されている場合の例になります

図 11. 免除がない場合の画面

実務修習支援システム

ログアウト

お知らせ

一覧 >

表示件数

種別	タイトル	閲覧状況	掲載日
全体	【注意事項】実務修習の受講に関するお知らせ	●未読	2017/10/04
全体	【実務修習】弁理士登録の申請・e-ラーニング研修の復習期間について	●未読	2017/10/13

実務修習期間の研修状況

■研修期間(実務修習グループ)

2017年12月8日 ~ 2018年3月31日

■研修修了までの単位数

弁理士法等 : 16.0

特・実 : 57.0

意匠 : 27.0

商標 : 30.0

条約その他 : 17.0

修得単位

受講課目

システム利用案内・問合せ

制度概要

図 12. ”特・実” 課程が免除されている場合の画面

実務修習支援システム

(特・実 免除)
ログアウト

お知らせ

一覧 >

表示件数

種別	タイトル	閲覧状況	掲載日
全体	【実務修習】弁理士登録の申請・e-ラーニング研修の復習期間について	●既読	2017/10/13
全体	【注意事項】実務修習の受講に関するお知らせ	●既読	2017/10/04

実務修習期間の研修状況

■研修期間(実務修習グループ)

2017年12月8日 ~ 2018年3月31日

■研修修了までの単位数

弁理士法等 : 16.0

特・実 : 0.0

意匠 : 27.0

商標 : 30.0

条約その他 : 17.0

修得単位

受講課目

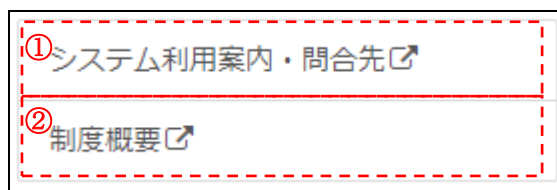
システム利用案内・問合せ

制度概要

(4) サイドメニュー

その他の機能ページへのリンクとなります。

図 13. TOP画面 サイドメニュー



① システム利用案内・問合せ先

- ・ 本システムのマニュアルのダウンロード
- ・ お問い合わせ先の情報
- ・ 個人設定画面（パスワード設定）

個人設定（パスワード設定）

“システム利用案内・問合せ先”画面の“個人設定画面”リンクをクリックすると、パスワードを変更する「個人設定」画面が表示されます。

図 14. システム利用案内・問合せ先 個人設定リンク



個人設定画面でパスワード（現在／変更／確認）を入力し”設定”をクリックすると、パスワード変更のメッセージが表示されます。

図 15. 個人設定画面／変更メッセージ画面

個人設定

パスワード設定

・本システムへのログイン時に使用するパスワードを変更する場合は、こちらで設定してください。

パスワード（現在）：

パスワード（変更）：

パスワード（確認）：

設定

パスワードが変更されました

OK

②制度概要

実務修習の制度が確認できます。

2. 受講課目画面

受講可能な実務修習課目は図 16「受講課目画面」にて確認できます。eラーニング研修と集合研修に分けて表示されます。

(1) 画面構成

図 16. 受講課目画面

実務修習 受講課目

eラーニング研修 | 集合研修

① eラーニング研修

課程	課目	単位	進捗状況
商標	類否判断	3.0	未受講
意匠	ハーグ出願	3.0	未受講
商標	審査基準の説明	3.0	未受講
弁理士法等	弁理士倫理	4.0	未受講
商標	マドプロ出願	3.0	未受講
商標	出願手続・概論	3.0	未受講
意匠	審査対応・概論（意見書・補正書）	3.0	未受講
弁理士法等	弁理士法	6.0	未受講
条約その他	審判の概要（特許異議・登録異議を含む）	4.0	未受講
意匠	審査基準の説明	3.0	未受講
意匠	出願手続・概論	3.0	未受講
条約その他	知的財産権に係る施策	4.0	未受講
意匠	類否判断	3.0	未受講
条約その他	出願手続（オンライン出願・願書の様式）	3.0	未受講
条約その他	条約（各国の制度概要を含む）	6.0	未受講
弁理士法等	弁理士業概論	6.0	未受講
商標	情報調査	3.0	未受講
商標	審査対応・概論（意見書・補正書）	3.0	未受講

② 集合研修

課程	課目	単位	開催日	進捗状況			
				起家受理	起家評価	再起案受理	出欠
意匠	【意匠】出願手続・演習	6.0	2018/02/03				
意匠	【意匠】審査対応・演習	6.0	2018/02/03				
商標	【商標】出願手続・演習	6.0	2018/02/10				
商標	【商標】審査対応・演習	6.0	2018/02/10				

実務修習期間の研修状況
■研修期間(実務修習グループ)
2017年12月8日 ~ 2018年3月31日
■研修修了までの単位数

弁理士法等 : 16.0
特・実 : 0.0
意匠 : 27.0
商標 : 30.0
条約その他 : 17.0

修得単位
受講課目

システム利用案内・開合先び
制度概要び

Copyright © 2017 Japan Patent Attorneys Association, All Rights Reserved.

(2) 各構成の説明

①eラーニング研修

各 eラーニング研修の課程、課目タイトルや単位、進捗状況が表示されます。

全ての効果確認問題に合格し eラーニング研修を修得した場合、その研修の課目は「修得単位」画面に「修得日」が追加されて表示されます。「受講課目」画面には表示されなくなります。

②集合研修

申請した集合研修の課目の課程、課目タイトルや単位、開催日、進捗状況が表示されます。進捗状況には集合研修の起家受理、起家評価、再起案受理、出欠が表示されます。

「コース決定通知」によりお知らせした「コース」および特許課目で選択した「技術分野」であるかどうか内容を確認してください。

起案が提出先に到着すると「起案受理」に○が入ります。

集合研修に出席しても、起案が基準を満たしていない場合には課目習得となりません。

その場合、起案の再提出が必要となります。再提出の起案が提出先に到着すると「再起案受理」に○が入ります。

起案と出席の両方が基準を満たし、受講実績が登録された場合、「修得単位」画面に“修得日”が追加されて表示されます。「受講課目」画面には表示されなくなります。

起案受理は、表示反映までに、起案提出期限日から1週間程度かかることを予めご了承ください。

3. 研修詳細画面

研修詳細画面は、「集合研修」「eラーニング研修」の2種類があります。

(1) 集合研修：研修詳細情報の表示

(2) eラーニング研修：研修受講、受講状況の確認、講義資料のダウンロード

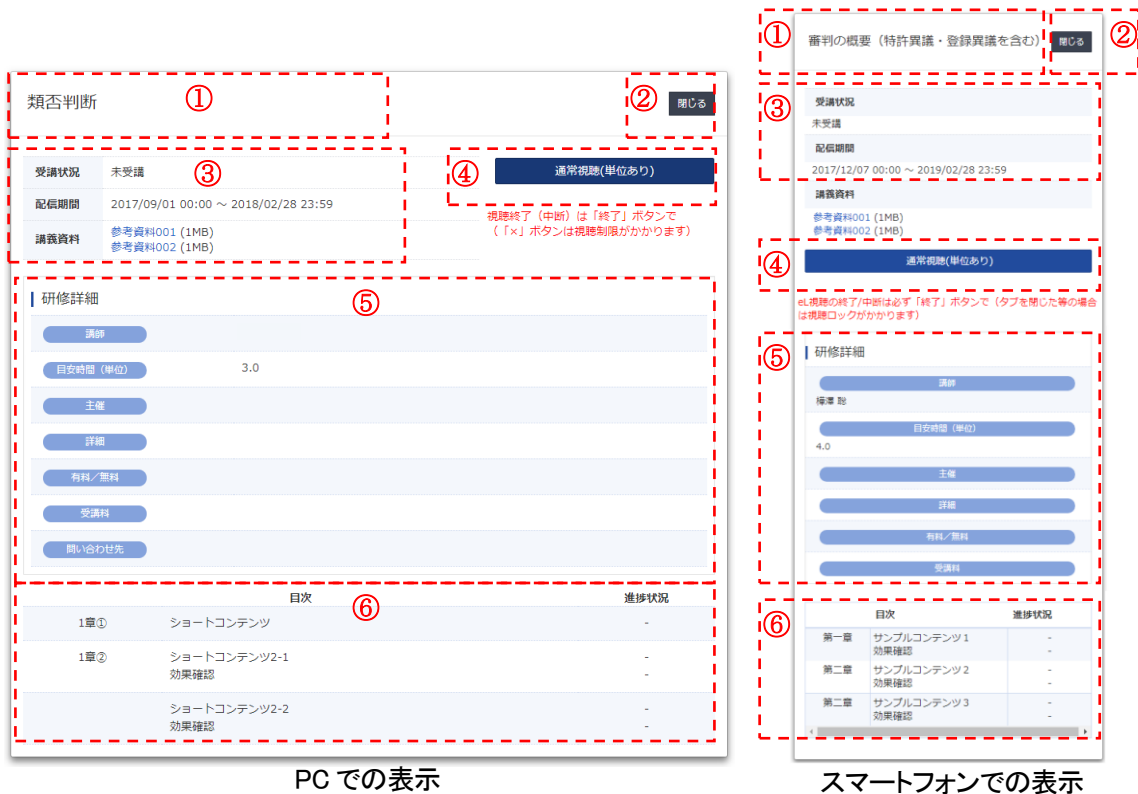
(1) 集合研修

図 17. 研修詳細画面（集合研修）

【特・実】明細書のあり方・演習（機械）	
閉じる	
研修詳細	
開催日時：	2018/01/20 10:00~17:10 (休憩13:10~14:00)
受付開始時刻：	
開催場所名称：	日本弁理士会東海支部室
開催場所住所：	
主催：	
単位数：	12.0
講師：	奥田誠
詳細：	
有料/無料：	
受講料：	

(2) eラーニング研修

図 17. 研修詳細画面 (eL 研修) ※受講前



①演題

対象の研修の演題が表示されます。

②” 閉じる” ボタン

「研修詳細」画面を閉じる際に使用するボタンです。

③受講状況、配信期間、講義資料

現在の受講状況、及び配信期間（受講可能な期間）を表示します。講義資料からは、講義映像で使用されるスライド等の資料がダウンロードできます。

④” 視聴” ボタン

受講画面を表示するボタンとなります。表示されるボタンについては2種類あり、下記のパターンで表示されます。

ボタン名	内容	表示タイミング
通常視聴（単位あり）	単位付与の視聴を行います。 前回受講を中断していた場合、中断箇所からの再開が可能です。 ※倍速再生、未視聴の章への移動はできません	・未受講 or 通常視聴での受講中
復習視聴	受講が修了した後、再度受講する際に使用します。 ※単位の付与（および受講履歴の保存）はされません。	・受講修了（単位付与済）

⑤研修詳細

研修の詳細な情報が表示されます。

⑥目次

章ごとの視聴状況（進捗状況）が表示されます。

4. 修得単位画面

修得単位の詳細は図 18「実務修習 修得単位画面」に表示されます。eラーニング研修を修得、集合研修の受講実績が登録された時点で図 18「実務修習 修得単位画面」に追加表示されます。

eラーニング研修は、既に修得した課目の課目名をクリックし研修詳細情報の”復習視聴”ボタンから配信期間中であれば繰り返し視聴することができます。

（1）画面構成

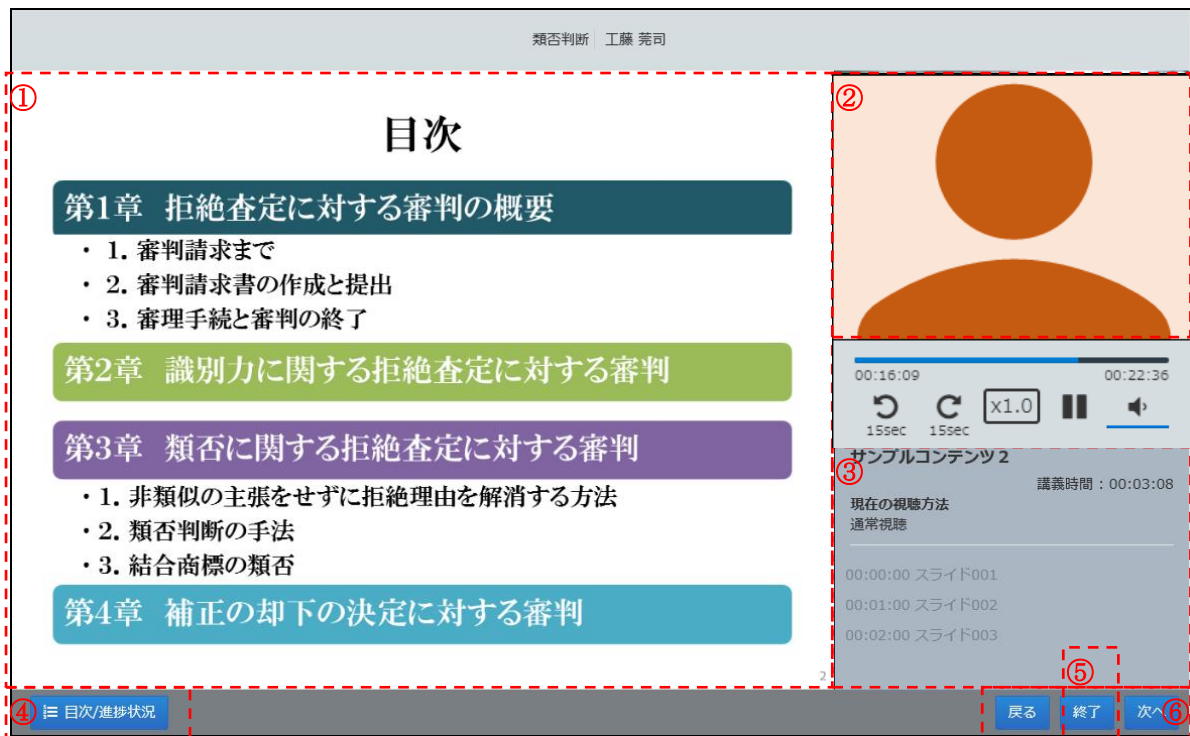
図 18. 実務修習 修得単位画面

実務修習 修得単位				
研修取得単位				
修得日	課程	種別	課目	単位
2017/12/08	特・実	eL	審査基準（補正の制限）	3.0
2017/12/08	特・実	eL	明細書のあり方（読み方・作成）概論	3.0
2017/12/08	特・実	eL	情報調査	6.0
2017/12/08	特・実	eL	P C T出願	3.0
2017/12/08	特・実	eL	クレームの作成・解釈	3.0
2017/12/08	特・実	eL	審査基準（産業上の利用可能性、新規性、進歩性等）	6.0
2017/12/08	特・実	eL	審査対応・概論（意見書・補正書）	3.0
	特・実	集合	【特・実】クレームの作成・解釈	6.0
	特・実	集合	【特・実】明細書のあり方・演習（電気）	12.0
	特・実	集合	【特・実】審査対応・演習（電気）	12.0
合計単位数		57.0 単位		

5. eラーニング受講画面の操作方法

(1) 講義映像（画面構成、動画プレイヤー）

図 19. 講義映像画面



①スライド

講義内容のスライドが表示されます。動画の再生時間に合わせて、次のスライドへ切り替わります。

②動画プレイヤー

講義映像の再生が行われます。操作方法については次項にてご説明します。

③スライド切り替え

動画の再生時間に応じた、スライドの切り替えタイミングが表示されます。クリックすると、記載されたタイミングに再生時間が移動されます

※受講完了している講義映像の視聴パターンのみ使用可能

④” 目次/進捗状況” ボタン

受講中の研修の目次を表示します。目次には「演題」「進捗状況」が表示され、” 演題” をクリックすることで受講中、または受講済の章へ移動することができます。

図 20. 目次画面

目次		進捗状況
第1章	拒絶査定に対する審判の概要 効果確認	受講完了 受講中
第2章	識別力に関する拒絶査定に対する審判 効果確認	- -
第3章	類否に関する拒絶査定に対する審判（1）	-
第4章	類否に関する拒絶査定に対する審判（2） 効果確認	- -
第5章	補正の却下の決定に対する審判	-

⑤” 終了” ボタン

視聴を終了し、研修詳細画面へ戻ります。通常視聴の場合、中断時の受講履歴を保存し、次回の視聴時に中断箇所から再生が可能となります。

通常視聴の場合、最後の章の視聴を完了し、” 終了” ボタンをクリックすることで研修が受講修了（単位付与）となります。

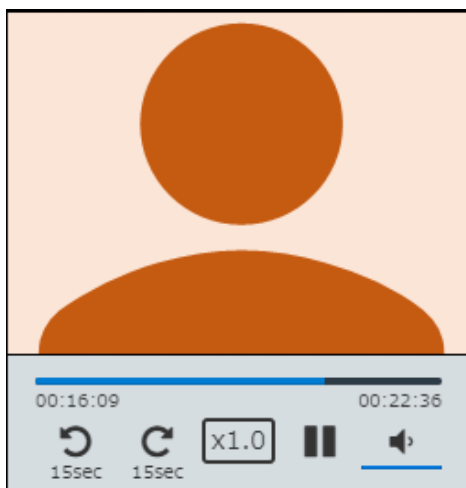
⑥” 次へ” ボタン / ” 戻る” ボタン

” 次へ” クリック時、次の章へ移動します。（動画が視聴完了していない場合、移動は不可）




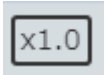


また、次の章が存在しない（最後の章）の場合、” 次へ” ボタンは表示されません。

” 戻る” クリック時、前の章へ移動します。（動画が初めの章の場合、移動不可）

・動画プレイヤー操作



映像の下部に表示される再生時間、及びコントロールボタンから再生に関する操作が可能となります。

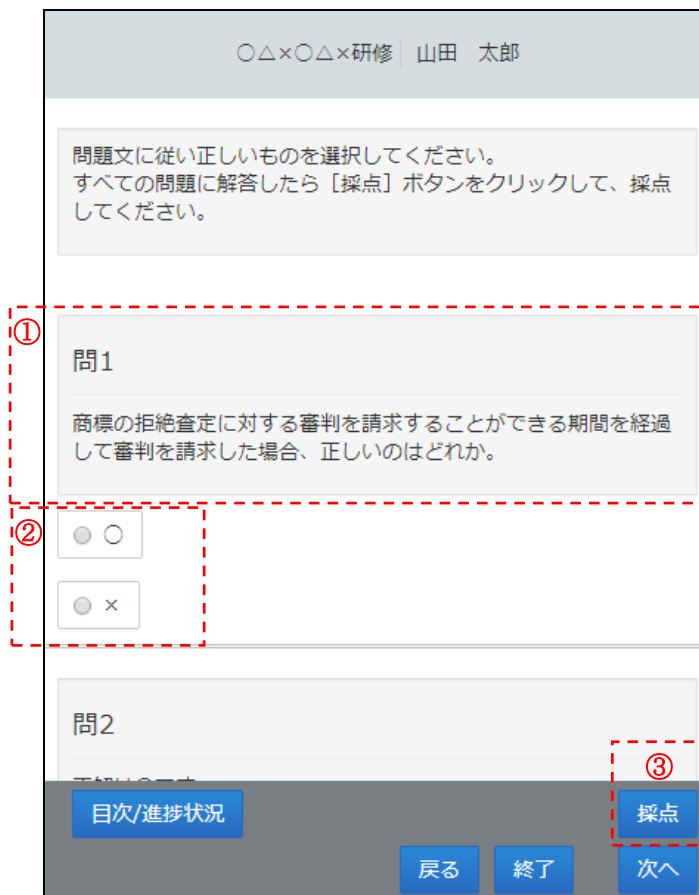
	再生時間※	動画の再生時間、及び現在の再生位置を表示、操作を行います。 ※通常視聴（未受講の講義映像）では操作不可
	15 秒巻戻し	現在の再生時間から 15 秒巻戻しを行います。
	15 秒先送り ※	現在の再生時間から 15 秒先送りを行います。
	再生速度変更 ※一部	クリック時、下記の順番で再生速度の変更を行います。 1.0 倍→[1.2 倍→1.5 倍→2.0 倍]→0.8 倍→0.6 倍→1.0 倍 ※[]内は通常視聴（未受講の講義映像）ではスキップされる
	再生/一時停止	映像の再生/一時停止を行います。再生中は「一時停止」ボタン（右）、停止中は「再生ボタン」（左）に切り替わります。
	音量調整	アイコン下のバーを操作することで、音量の変更が可能となります。

（※）受講完了している講義映像の視聴のみ使用可能

（２）効果確認問題

効果確認問題では、講義に対応した問題に解答します。全設問のうち「80%」以上正解することで完了となります。

図 21. 効果確認問題画面



○△×○△×研修 | 山田 太郎

問題文に従い正しいものを選択してください。
すべての問題に解答したら【採点】ボタンをクリックして、採点してください。

① 問1
商標の拒絶査定に対する審判を請求することができる期間を経過して審判を請求した場合、正しいのはどれか。

② ☐ ☒ ×

問2

③ 採点

目次/進捗状況 戻る 終了 次へ

①設問

設問（問題文）が表示されます。

②選択肢

設問に対応する選択肢が表示されます。設問のパターンには「単一選択」「複数選択」の2種類があります。

■単一選択形式の場合

- ☒ 選択肢 1
- ☐ 選択肢 2
- ☐ 選択肢 3

■多肢複数選択形式の場合

- ☒ 選択肢 1
- ☒ 選択肢 2
- ☐ 選択肢 3

③”採点”ボタン

選択した内容で採点を行います。

採点結果により合格、不合格（再回答）画面が表示されます。

◆不合格（正解率 80%未満）の場合

図 22. 効果確認問題画面(不合格)

The screenshot shows a user interface for a test. At the top, the user's name '山田 太郎' and a progress indicator '○△×○△×研修' are displayed. A red dashed box labeled ① highlights a message: '本章を合格するには3問正解する必要があります [再回答] ボタンをクリックし、再テストを行ってください。' Below this, the question '問1' is shown with a text description and two radio button options. A red dashed box labeled ② highlights a large red 'X' and the text '不正解' (Incorrect). At the bottom, there are three buttons: '目次/進捗状況', '再回答' (labeled ③), and '次へ'. The '再回答' button is highlighted with a red dashed box.

①採点状況

合格に必要な正解数が表示されます。

②正誤

設問に対する正解、不正解が表示されます。不合格の場合、解説は表示されません。

③”再回答”ボタン

回答画面に戻り、同じ効果確認問題を再度回答します。

◆合格（正解率 80%以上）の場合

図 23. 効果確認問題画面（合格）

The screenshot shows a mobile application interface for a quiz. At the top, it says '○×△○×△研修 | 山田 太郎'. Below that, a message box states '本章の効果確認は合格です。'. The main section is titled '問1' and contains a question about trademark rejection. Below the question are two radio button options: the first is selected and labeled '○', and the second is labeled '×'. A green box with a checkmark and the text '正解' (Correct) and '正解はは○です' (The correct answer is ○) is highlighted with a red dashed line and a circled '1'. At the bottom, there are three buttons: '目次/進捗状況' (Table of Contents/Progress), '戻る' (Back), and '次へ' (Next), with the '次へ' button highlighted by a red dashed line and a circled '2'.

①正誤

設問に対する正解、不正解が表示されます。合格の場合、設問の解説が表示されます。

②”次へ”ボタン

合格後に”次へ”ボタンをクリックすることで、次の章へ移動します。

”目次/進捗確認”ボタンをクリック時、各章の進捗状況の確認、及び章への移動が可能な画面となります。（表示内容は研修詳細画面の内容と同様です）

※eラーニング研修の受講に関する注意事項

▼視聴ロックについて

eラーニング受講の終了を「終了」ボタン以外で行われた場合（ブラウザの「×」ボタンやスマートフォン等のスライド操作で終了）や複数の講義を同時に視聴されようとした場合には視聴ロックがかかります。ロック後、30分程経過すると自動的に解除される仕様となっています。

お急ぎの場合は下記方法にて、30分お待ちいただかずとも受講を再開いただけます。

(1) 同一端末の異なるブラウザから研修システムにログインして受講する。

例：「GoogleChrome」での受講時に視聴制限ロックとなった場合は、
「Firefox」などの他のブラウザからログインして受講する。

(2) 視聴制限ロックとなった端末とは異なる端末でログインして受講する。
例：パソコンAでロックがかかった場合は、パソコンBまたはタブレット等異なる端末からログインして受講する。

(3) 視聴ロックとなったブラウザのキャッシュクリアし、受講する。

視聴ロックは、二重視聴や指定操作ボタン以外の方法での受講を防止し正しく受講いただくための制限となります。

▼受講時の通信状況について

通信状況が悪い状況でシステムをご利用の場合、受講履歴の保存に失敗する可能性があります。
ご利用の際には通信が安定した環境でお願いします。

参考 本システムの利用に必要な動作環境（令和7年8月現在）

「実務修習支援システム」を利用するためには、以下のOS、インターネットブラウザ環境が必要です。ご使用される環境が要件を満たしているかどうかご確認ください。

■動作環境について

利用可能なOS・インターネットブラウザ

機器	OS	ブラウザ
PC	Microsoft Windows 10以降	・Microsoft Edge 79以降 ・Google Chrome 68以降 ・Firefox78以降
	Mac OS X以降	・Safari 10以降
スマートデバイス	Android 9以降	・Google Chrome 68以降 ※初期インストールのブラウザ
	iOS12以降	・Safari 10以降

※令和7年8月末時点で公開されているバージョンが対象です。

上記の環境以外では動作保証しておりません。受講等について問題が発生する可能性があります。

※本システムは日本国内での利用を想定しており、海外からのアクセスは保証されておりません。

動作環境の端末でも正常に利用できない可能性があります。

以上